

# 寺子屋 第1期生 中間テスト解説

## 【2】動詞の変化問題

### ポイント

- ・時を表す表現(副詞・副詞句・副詞節)
- ・主語(三人称単数など)
- ・助動詞

に注目して正しく動詞を変化させられるかを問う問題です。

1. Kate watched TV drama yesterday.

動詞の過去形

時を表す表現

yesterday= 昨日という時を表す表現があることに注目。  
動詞を過去形(動詞の原形+ed)の形に変える。

## 2. Tatsuya **is** our teacher.

特に時を表す表現がないので現在形で表す。

人名に対応するBe動詞は is なので be を is に変える。

3. Everyone goes to school together every day.

単数扱い

時を表す表現

見るポイント

① every day = 繰り返しを表している

② 主語 everyone = 単数扱い

上記2点から、三単現のS(es)をつけると判断する。

4. He may come to the party next week.

助動詞＋動詞の原形

時を表す表現

next weekは未来の時を表す表現だが、

「助動詞の後ろは動詞の原形」

というルールに従って、動詞は原形のまま置く。

5. Aki is cleaning her room now.

現在進行形

【Be動詞＋動詞のing形】

時を表す表現

「now=いままさにしていること」を表すので  
be動詞＋動詞のing形(現在分詞)で表します。

## 6. You like watching movies.

時を表す表現がないので、現在の習慣・動作を表すと考えて、動詞は現在形にする。



7. My father **was** in his room **last night**.

Be動詞の過去形

時を表す表現

last night = 昨夜は過去を表しているので、  
Be動詞を過去形に変える。

## 8. She **is going to** visit Canada **next month**.

「next month = 未来」なので

- be going to + 動詞の原形

- will + 動詞の原形

のいずれかで表します。

## 9. We **always** eat lunch at twelve.

頻度を表す表現  
いつも＝習慣

every day などのように一定の頻度ではなく、  
不定の頻度を表す always・usuallyなども繰り返しの表現。  
「いつも昼食を食べている」＝習慣になるので動詞は現在形で表す。

# 10. One of my friends calls me every Sunday.

「～のうちの1人・1つ」  
= 単数扱い

繰り返しを表す表現

## 見るポイント

① every Sunday = 繰り返しを表している

② 主語 One of ～ = 単数扱い

上記2点から、三単現のS(es)をつけると判断する。

# 11. Mike and I play tennis together.

自分と話し相手以外の人・モノが主語になるが、  
この場合2人が主語なので、三単現のSはつかない。

## 12. John **must** finish his homework as soon as possible.

主語は三人称単数だが、

「助動詞の後ろは動詞の原形」のルールに従う。

※as soon as possible = 「出来るだけ早く」

## 【2】疑問文・否定文に変える問題

### ポイント

- ・疑問文と否定文のルール
- ・時を表す表現が入っているか
- ・主語が変わったときの動詞の変化

に注目して文を変化させられるかを問う問題です。

1. Does Tom go to school every Saturday?

Yes, he does. / No, he doesn't.



2. Your daughter **doesn't** play the guitar very well.

3. Do they live in Osaka?

Yes, they do. / No, they don't.

## 4. He **must** write an essay **until next Monday**.

- until next Sunday= 未来を表す表現

- 主語が三人称単数

ではあるが、「助動詞の後ろは動詞の原形」のルールに従って、動詞は原形のままにしておく。

5. **Was** he free **last Friday**?

Yes, he **was**. / No, he **wasn't**.

Be動詞の過去形のルールに従って主語とBe動詞を入れ替える。

## 6. We weren't happy last month.

now=現在から、last month=過去の表現に変わったので、  
Be動詞も現在形から過去形に変える。  
areの過去形wereに変えて否定形 weren'tにする。

## 7. You **are** a doctor.

主語が He から You に変わったので、  
対応する適切なBe動詞に変える。  
You につくBe動詞は are.

8. I **was taking** a picture **when you visited my house.**

9. Yumi play~~ed~~ the violin very well ~~yesterday~~.

yesterday=昨日という時を表す表現が加わったので、  
動詞も過去形(動詞の原形+ed)にする。



10. They **weren't** studying English  
when I went to school.

進行形の否定文はBe動詞と動詞のing形の間にはnotを入れる。  
were not でも weren't でも可。

11. **Can** Keiko swim very well?

Yes, she **can**. / No, she **can't**.

まず、文章を助動詞の肯定文にする。

Keiko can swim very wellにし、動詞を原形に戻す。

後は助動詞の疑問文のルールに従い、主語を助動詞を入れ替える。

## 12. Kumi likes English very much..

肯定文なので主語＋動詞の順番に並び替える。  
その際、主語が三人称単数なので動詞に三単現のS(es)をつけるのを忘れないこと。

## 13. She **doesn't have** to hurry.

主語がShe=三人称単数なのでhas to になっている。

doesn't を主語の後に置き、hasを原形のhaveに戻す。

※否定文になると「**～する必要はない**」という意味になることに注意する。

## 【4】文法のルールが頭に入っており、 間違いを正しく指摘できるかを問う問題

### ポイント

- ・疑問文と否定文のルール
- ・主語が変わったときの動詞の変化

に注目して間違いを見つけられる力を問う問題です。

# 1. Ms. Brown gets **s** up at five **every morning**.

every morning=習慣を表す表現が入っているので、  
現在の習慣を表す文章だと考える。  
主語が三人称単数なので動詞の後ろにs(es)を付けて、  
三人称単数現在の形にする。

2. Does she have a bike? - Yes, she does.

一般動詞の疑問文のルールに従って  
三人称単数が主語で現在形の文章を疑問文にする場合、文章の  
最初にDoesを入れて動詞は原形に戻す。

3. He **was reading** a book **when I visited his house** .

when I visited his houseという時を表す表現がある。  
この場合は、「(過去のある時点で)継続的な動作を表す」表現を使うので、過去形ではなく過去進行形  
Be動詞の過去形＋動詞のing形を使う。



4. Must she wash dishes right now?

No, she **doesn't have to**.

助動詞mustの疑問文は「～しなければなりませんか？」となり、Noで答える場合は「～しなくてもよい」という意味に変えられないといけないので「禁止」を表すmust notではなく、don't [doesn't] have to で答える。

## 5. Each student has their own desk.

everyと同じようにeachは複数の人・ものを指して「各々・それぞれ」の意味を持つが**単数**として扱う。  
従って動詞は三人称単数現在の形に変える。

## 6. He likes bananas.

可算名詞は単数形を単独用いることはありません。  
「バナナが好きだ」のように種類全体を指すときは、  
冠詞を付けず複数形にして表します。(P.134参照)

## 7. Mike **can** speak French very well.

主語が三人称単数ではあるが、助動詞の後ろは動詞の原形のルールに従い、speaksを原形のspeakの形に戻す。

## 8. I **was** playing a video game **when she called me.**

when she called meという過去の時を表す表現に注目する。時制のヒントから I'm playing a video gameの文も過去形に変える必要があるので、Be動詞を過去形にして過去進行形の文章にする。

## 9. Mary doesn't buy furniture.

主語が人名=三人称単数なので、否定文にするときは don't ではなく doesn't + 動詞の原形にする。

## 10. David **has to** finish his essay.

主語が人名=三人称単数なので have to =「～しなければならない」を has to に変える。あとは動詞の原形を後ろに置く。

## 【5】TOEIC形式問題

### ポイント

今まで習った文法のルールをフル活用して、  
選択肢の中から間違っているものを  
「**根拠をもって排除できるか**」を問う問題です。



# 1. I **was doing** my homework **then**.

then=「その時」はwhen ~と同じように、過去のある時点を指す。過去形の文章でwhen ~の時を表す表現がある場合は過去進行形の文章にする。

## 2. **Water** boils at 100 degrees Centigrade.

不可算名詞(数えられない名詞)は冠詞(a,an,the)はつかず、複数形にもしない。(P.135参照) 単数扱いなので動詞は三人称単数現在のs(es)をつける。

※この文章が表すのは「水は100°Cで沸騰する」という永遠の真理・事実なので現在形でのみ表す。

### 3. **Could** you show me the way to the station?.

駅までの道を訪ねているので、相手に依頼する形になる助動詞を選ぶ。Canのコアは「可能」で、そこから派生して「～する能力はありますか？＝～してもらえますか？」という依頼の意味を持つ。また、canがcouldになることで精神的な遠さを表し、より丁寧な表現になる。

4. We **will make** a new business plan based on the report **by next year**.

少し難しめの文章ではあるが、時制のヒントを探し動詞の形を定めるといふ流れは変わらない。今回 by next year=来年までにという未来を表す表現があるので、動詞を未来形【will＋動詞の原形】にする。

## 5. You **will be able to** speak English, **if you study hard.**

if you study hard は「もし勉強を熱心にすれば」という意味。つまり、「(今はしていないが)もし熱心に勉強すれば、将来英語が話せるようになると思うよ。」という**能力**についての**推量**を表す。

ただし助動詞は2つ続けられないのでcanではなく同等の意味を持つ be able to を使い、will be able to + 動詞の原形の形にする。